

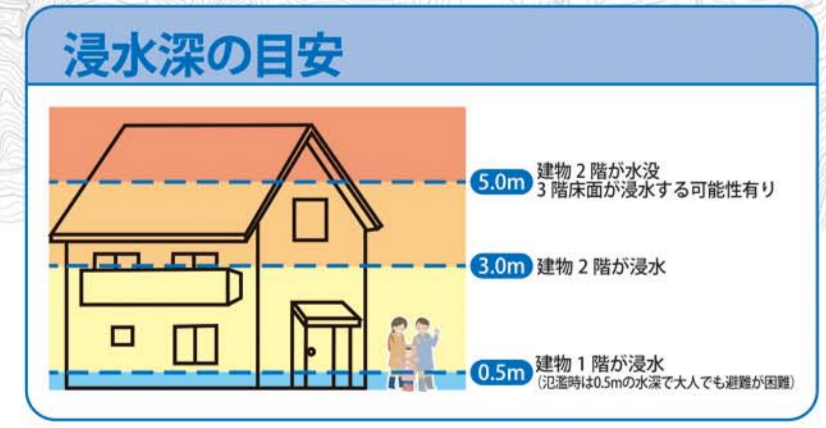
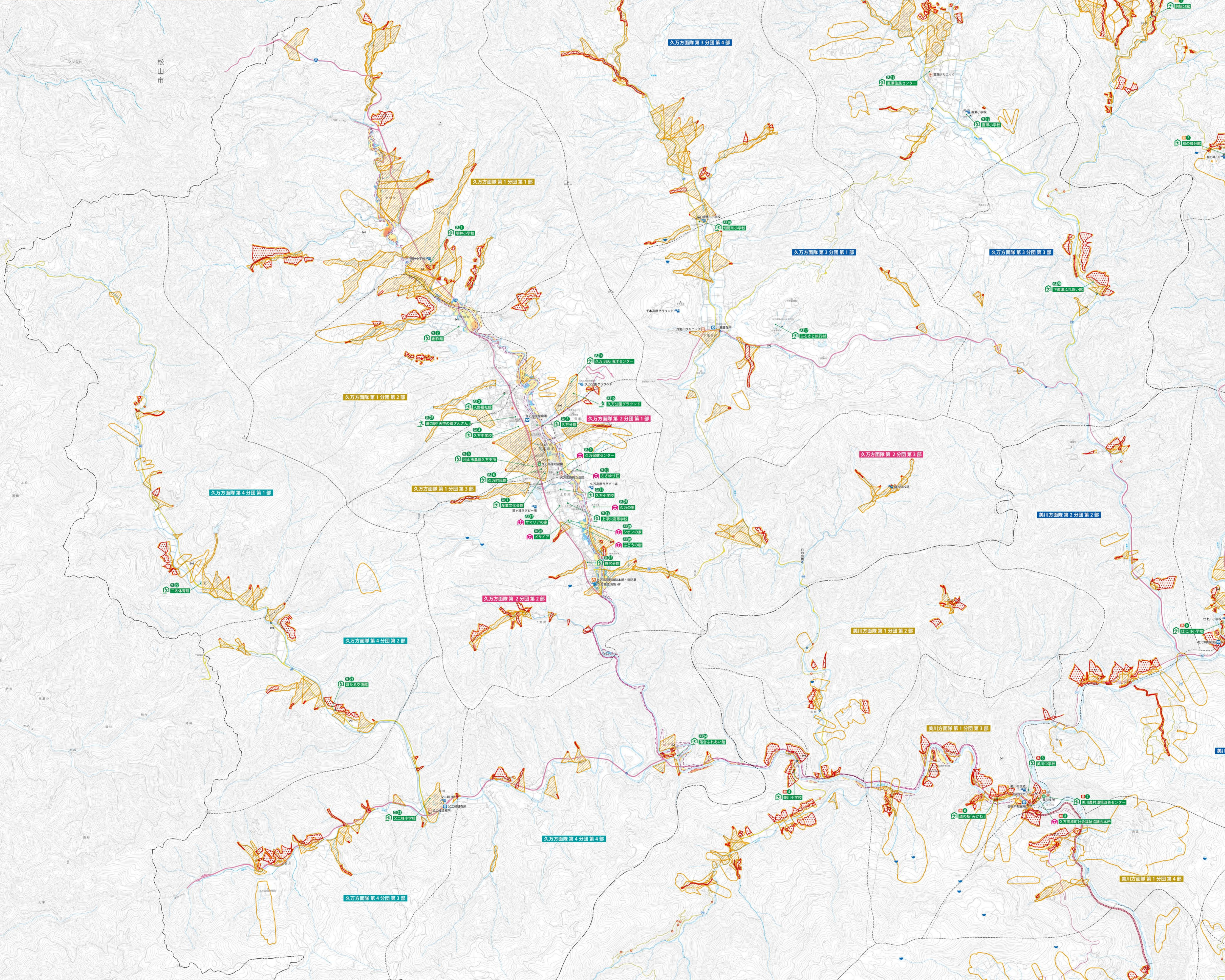
土砂災害の種類

土砂災害には、「がけ崩れ」「土石流」「地すべり」の3種類があります。大きな被害を引き起こす土砂災害に対処するには、それぞれの特性と発生の兆候を知ることが重要です。



土砂災害には前兆現象がよく見られます。大雨の時、以下のような現象を発見したら、役場に連絡をしてすみやかに避難しましょう。土石流の速度は時速30~40kmにも及びます。発生してからでは間に合わないのです。予兆に十分に注意すること！

前兆現象	前兆現象	前兆現象
斜面(がけ)から小石がバラバラと落ちてくる	川が濁り、流木が一緒に流れる	地面にひび割れができる
斜面(がけ)から急に水がわき出したり、わき水が落ちる	山崩りがする	斜面の所々から急に水がわき出す
斜面(がけ)に割れ目ができる	雨は降り続けているが、流れる水が減ってくる	井戸水が濁ったり、池や沼の水が急に減ったり増えたりする



土砂災害警戒区域

土砂災害が発生した場合、住民等の生命又は身体に危害が生ずるおそれがあると認められる区域で、「土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律(土砂災害防止法)」により指定された区域です。(指定を予定された区域を含む)

土砂災害警戒区域
土砂災害が想定される区域

土砂災害特別警戒区域
土砂災害警戒区域のうち、建築物に損害が生じ、住民に著しい被害が発生する恐れのある区域

令和2年度 久万高原町 久万地区 防災マップ

久万地区全域

保存版

凡例

- 避難所兼緊急避難所
- 緊急避難所
- 福祉避難所
- 町役場・支所
- 消防署・支所・出張所
- 警察署・交番・駐在所
- 緊急医療機関
- 防災無線(非常通話機能)
- 備蓄倉庫
- ヘリコプター
- ため池
- 落石等危険箇所
- 橋梁耐震対策箇所
- 水防区域
- 事前通行規制区間
- 緊急輸送道路
- 県道
- 消防方面界線
- 消防分団界線

凡例

浸水想定区域(想定最大規模)

- 5.0~10.0m未満(2階床浸水)
- 3.0~5.0m未満(2階床上浸水)
- 0.5~3.0m未満(1階床上浸水)
- 0.5m未満(1階床下浸水)

家屋倒壊等氾濫想定区域(河岸浸食)

この浸水想定区域は、想定最大規模降雨(48時間総雨量90mm)に基づき久万川が氾濫した場合の浸水深などを表示しています。災害はいつどこで発生するかわかりませんが、雨の降り方によってはこの図に示されていない場所でも浸水する可能性があります。浸水深も深くなる場合がありますので注意してください。

※本データは1/25,000レベルの精度で作成されており、あくまでおおむねの位置を把握するものであり、現行のものとは異なる場合があります。